

事務事業評価シート(1/2)

1頁
令和 5年 8月17日
18時27分15秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目(施策)	004	10都市基盤(市街地)		
施策の方針	002	都市拠点(JR安城駅周辺)の整備促進		
事務事業	019	アンフォーレ施設管理事業		
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例			
備考				

【事業分析】

対象	施設利用者が
目的	快適な環境で施設を利用できるようになります。
手段	施設警備・設備点検・清掃等の維持管理、建築設備器具修繕等を実施します。
事務内容	光熱水費支払い、建築設備器具修繕、PFI事業者への施設維持管理業務委託、ネットワーク保守管理委託等

【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	117,961	138,633	150,155
事業費	111,361	132,033	143,555
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,016	3,060	1,931
一般財源	109,345	128,973	141,624
人件費計	6,600	6,600	6,600
正規(人)	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	アンフォーレ設備維持 管理委託、施設保守管 理委託等	アンフォーレ設備維持 管理委託、施設保守管 理委託等	アンフォーレ設備維持 管理委託、施設保守管 理委託等

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和 5年 8月17日
18時27分15秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	1,000,000.00 878,167.00	1,000,000.00 966,702.00	1,000,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	入館者数の実績等を踏まえ、十分なニーズがあると考えます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響がありつつも目標値の9割まで回復しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	PF1事業による維持管理計画を都度適正に見直しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模にあった事業管理を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	アンフォーレは平成29年6月にオープンし、令和4年4月にはアンフォーレ本館入館者500万人を達成しました。令和4年度も引き続きコロナ対策を徹底したうえで市民の交流の場として活用された結果、目標の9割まで入館者数が回復しました。引き続き、利用者の皆さまが快適に施設を利用できるよう関連法令を遵守しながら適切な維持管理・施設運営に努めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月17日
18時27分15秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進			
事務事業	020	まちなか賑わい創出事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・中心市街地拠点施設活用促進事業 ・南吉まちづくり推進事業				

【事業分析】

対象	安城市民及び市外住民が
目的	アンフォーレを有効活用し、多くの来館が生まれることで、まちなかの交流・賑わいが創出されるようになります。
手段	ホール等の交流多目的スペースを活用したイベント業務やイベントを実施する市民団体等のコーディネート業務等を行う指定管理事業、アンフォーレのPR、新美南吉等の地域資源を活用した回遊促進事業等を実施します。
事務内容	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	65,972	64,091	66,653
事業費	56,072	54,191	56,753
国庫支出金	6,974	7,000	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	49,098	47,191	56,753
人件費計	9,900	9,900	9,900
正規（人）	1.50	1.50	1.50
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 5年 8月17日
18時27分15秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
交流多目的スペースの稼働率	%	50.00 51.30	50.00 62.60	60.00 0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	1,000,000.00 878,167.00	1,000,000.00 966,702.00	1,000,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市議会、地域商店街等からの施設有効利用の要望があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響がありつつも目標値の9割まで回復しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を活用し、事業の効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模に見合った事業実施を図っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	アンフォーレは平成29年6月にオープンし、令和4年4月にはアンフォーレ本館入館者500万人を達成しました。令和4年度も引き続きコロナ対策を徹底したうえで市民の交流の場として活用された結果、目標の9割まで入館者数が回復しました。また、令和4年度から新たな指定管理者となり、満足度の高いイベントを開催しています。引き続き、まちなかの交流や賑わいを創出する事業展開を図ってまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係
事務事業 02577 図書情報館 I C T 活用事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 (施策)	004	1 4 生涯学習			
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開			
事務事業	004	図書情報館 I C T 活用事業			
事業期間	平成26年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	図書館法、文字・活字文化振興法、安城市図書館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から名称変更しています。 ・ 図書情報館機能整備事業				

【事業分析】

対象	図書情報館利用者が
目的	必要な情報を得て知識を深めることができます。
手段	施設や機器を提供します。
事務内容	情報発信及び情報機器類の管理と利活用を行います。

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	354,633	63,313	66,372
事業費	340,773	53,413	56,472
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	129,347	1,221	1,211
一般財源	211,426	52,192	55,261
人件費計	13,860	9,900	9,900
正規 (人)	2.10	1.50	1.50
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	I C T 機器更新 図書情報ネットワーク 保守委託 図書館システム運用保 守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデー タベース等	図書情報ネットワーク 保守委託 図書館システム運用保 守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデー タベース 利用者用電子書籍等	図書情報ネットワーク 保守委託 図書館システム運用保 守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデー タベース 利用者用電子書籍等

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5 年 8 月 17 日
18 時 28 分 06 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係
事務事業 02577 図書情報館 I C T 活用事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
自動貸出機利用率	%	85.00 85.30	85.00 84.60	85.00 0.00
施設利用日率	%	50.00 67.03	50.00 59.12	50.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国、県の図書館もありますが、図書情報館独自の取り組みです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	図書貸出の約 8 4 % 以上が、I C T 活用によるものです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	若干下回る指標があるものの、ほぼ達成しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	一部業務を民間に委託し、効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても、質の高いサービスを提供しています		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	図書情報館の貸スペースのうち、グループ学習室は施設利用日率目標を達成していますが、スタジオ、ディスカッションルームは達成していません。 認知度向上のため、内覧会等を開催するなど P R に努めてまいります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月17日
18時29分05秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	005	図書情報館資料貸出事業		
事業期間	昭和24年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進			
備考				

【事業分析】

対象	図書館を利用する市民が
目的	必要とする図書館資料の提供を受けられるようになります。
手段	利用者のニーズに応じた図書館資料を迅速かつ的確に選定・収集し、または他の図書館との相互貸借により提供します。
事務内容	図書館資料の貸出、レファレンスサービス、図書館資料の選定・収集・装備、相互貸借、公民館図書室等への配送、図書館システムの使用（維持管理含む）等

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	119,070	114,087	117,444
事業費	96,630	96,927	97,644
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	59	74	60
一般財源	96,571	96,853	97,584
人件費計	22,440	17,160	19,800
正規（人）	3.40	2.60	3.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等・ 児童クラブ（夏休み期間） 図書配送業務（派遣）	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等・ 児童クラブ（夏休み期間） 図書配送業務（派遣）	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等・ 児童クラブ（夏休み期間） 図書配送業務（派遣）

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5 年 8 月 17 日
18 時 29 分 05 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市民 1 人あたりの図書年間貸出冊数	冊	9.00 10.35	10.50 10.03	10.50 0.00
図書館等の実利用者数 (単年度)	人	27,000.00 27,803.00	28,000.00 28,191.00	28,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	年間貸出冊数は、同規模自治体の中でも多くニーズが有ります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年間貸出冊数・実利用者数共にコロナ禍から徐々に回復しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	雑誌スポンサーを活用するなど事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較して質の高いサービスの提供に努めています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民 1 人あたりの図書年間貸出冊数は、目標を達成できませんでした。引き続き利用者のニーズに応じて蔵書を収集し、多種多様な資料を迅速に提供してまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月17日
18時29分05秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	006	読書活動推進事業		
事業期間	昭和24年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律			
備考				

【事業分析】

対象	より多くの市民が
目的	読書に親しみ、読書活動を通じて豊かな心を育むことができますようになります。
手段	おはなし会やブックスタート事業などの充実により、市民が本に親しむ機会を提供します。
事務内容	出前おはなし会・定期的なおはなし会等の開催、ボランティア養成・スキルアップ講座の開催、安城版ブックスタート事業 等

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	20,274	24,874	29,784
事業費	3,774	6,394	12,624
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	791	468	1,515
一般財源	2,983	5,926	11,109
人件費計	16,500	18,480	17,160
正規（人）	2.50	2.80	2.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 第3回安城市新美南吉絵本大賞 外国にルーツを持つ子供への読書活動推進	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 第3回安城市新美南吉絵本大賞	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 第3回安城市新美南吉絵本大賞

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
図書館での「おはなし会」の参加人数	人	250.00 752.00	1,000.00 2,678.00	3,000.00 0.00
ボランティア養成・支援講座の開催回数	回	10.00 8.00	10.00 13.00	15.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	コロナ禍の影響を受けたが、おはなし会参加者は回復しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	おはなし会やボランティア養成講座は開催を再開しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ボランティア団体との協働で、おはなし会等の事業を行っています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較して質の高いサービスに努めています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民の読書活動推進のため、朗読会やおはなし会など本に触れ合う機会の充実に努めてまいります。図書館ボランティアの高齢化などにより人材不足の傾向が見られるため、現行ボランティアのスキルアップとともに新たな人材の養成に努めてまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。